

タッチバック制御

QuattroPod のタッチバック機能を使用すると、タッチスクリーンを介して Windows コンピュータとワイヤレスで対話することができます。最大 10 本の指でのジェスチャを持つタッチスクリーンジェスチャを、ワイヤレスで Windows コンピュータに送って、受信機を介して送信機に送ることができます。すべての既知の Windows タッチジェスチャーがサポートされています。

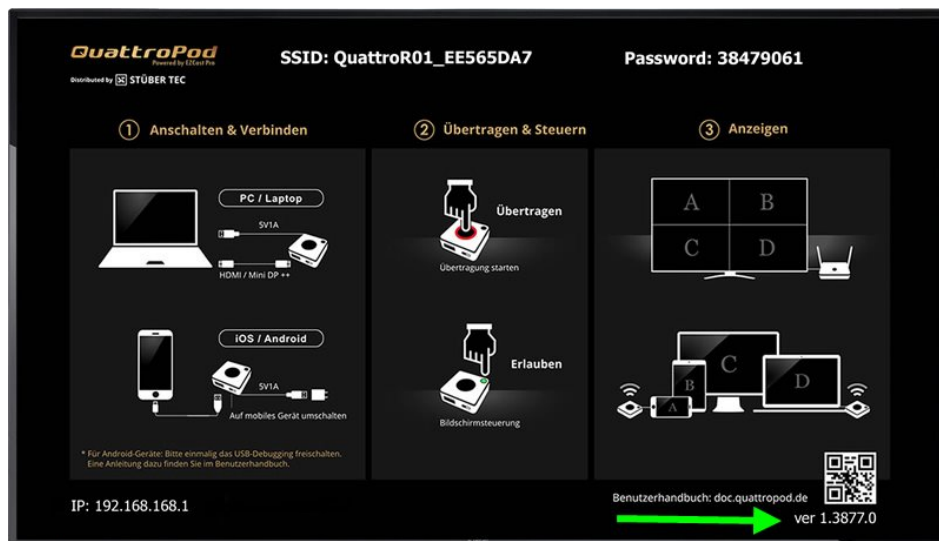
プレゼンテーションが別の参加者に切り替えられると、タッチバック機能も切り替わります。これにより、1 つの画面で複数の参加者が対話的かつクリエイティブに会議を開くことができます。

必要条件

- タッチバックコントロールは、ファームウェアバージョン 1.3877.0 以降で使用できます。
- Windows 7/8/10 でサポートされています。
- 単一デバイスの全画面ミラーリングのみがサポートされています。（タッチバック付き分割画面はできません）

ファームウェアのバージョンを確認する

- QuattroPod レシーバーの電源を入れます。スタート画面が表示されたら、以下に示すように、最新ファームウェアバージョン 1.4498.0 が実行されているかどうかを確認してください。必要に応じてファームウェアを更新してください。



タッチバック制御はファームウェアバージョン 1.3877.0 以降で有効になります。

セットアップ方法

- レシーバーとトランスミッターがペアリングしている事を確認する。
- タッチ対応スクリーンの USB ケーブルをレシーバーの USB ポート（「USB」と表示されている）に接続します。



- トランスミッターのモードを PC に切り替えます。 トランスミッターを Windows コンピュータの USB ポートの 1 つに接続します。 次に付属の HDMI または DisplayPort にケーブルを接続します。



送信機を「PC」モードに切り替える

受信機と送信機が正しく接続されていれば、スタート画面が画面に表示され、送信機の大きなボタンが赤く点灯します。 それでもトランスミッターが起動しない場合は、レシーバーを確認し、トランスミッターとレシーバーをもう一度ペアリングしてください。

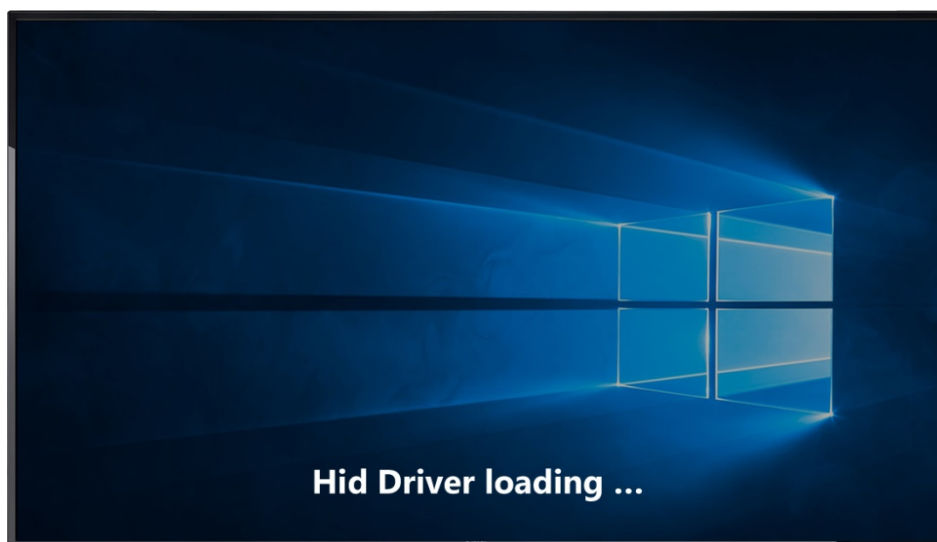


投影開始スタート

- タッチバックコントロールを使用して Windows コンピュータのミラーリングを開始するには、大きな赤いトランスミッターボタンを押すだけです。



- トランスミッター・キーを押しコンテンツを表示する
- タッチバック機能が正しく設定されている場合は、「Hid Driver loading ...」というメッセージが画面に数秒間表示されます。



- タッチバックコントロールは正常に起動しました